

プロフェッショナル・サービス企業向けスニーク・ピーク: NetSuite 2022 リリース 1 によるプロジェクト・マネージャー支援

Adam Mayo, Vertical Product Manager

プロフェッショナル・サービス企業の前には取り組むことができる新しいビジネスがあります。IDC では 2022 年の市場成長率を前年比 4%と予測しています。これはよいニュースです。しかし、問題はその拡大を後押しするための雇用にあります。

次の 2 つの統計データがこの二律背反を物語っています。

- 2022 年に収益が増加すると予想しているサービス企業のエグゼクティブは 59% で、それに対して減少すると予想しているエグゼクティブはわずか 16% でした。これは、Crain 社の「2022 Professional Services Spending Forecast」において会計、法律、財務および M&A アドバイザリ、保険、経営コンサルティング、マーケティング、トレーニングの各分野のサービス会社を対象として 9 月に行われた調査の結果です。

プロフェッショナル・サービス企業がビジネスを拡大するということは通常、経験を積んだプロジェクト・マネージャーやコンサルタントの採用が増えることを意味します。しかし…

- 労働統計局が統計を開始して以来、求職者数に対する求人数の比率はかつてないほど高くなっており、学士号や上級学位を持つ専門家の失業率は歴史的な低水準に近づいています。[この労働力保持の現実と対処法](#)については、Brainyard の 2021 年秋/冬の調査で取り上げられています。

顧客はパーソナライズされたサービスを求め、プロジェクト・マネージャーはこれまで以上に多くの仕事をこなす必要があり、企業のリーダーはビジネスの成長のためにキャッシュ・フロー・データの可視化を必要としています。

NetSuite 2022 リリース 1 には、サービス企業がこれらすべての課題に対応し、従業員（とりわけプロジェクト・マネージャー）の生産性とクライアントの満足度を高め、データの連携を深め、プロジェクトの収益性を高めるのに役立つ新機能や拡張機能が含まれています。

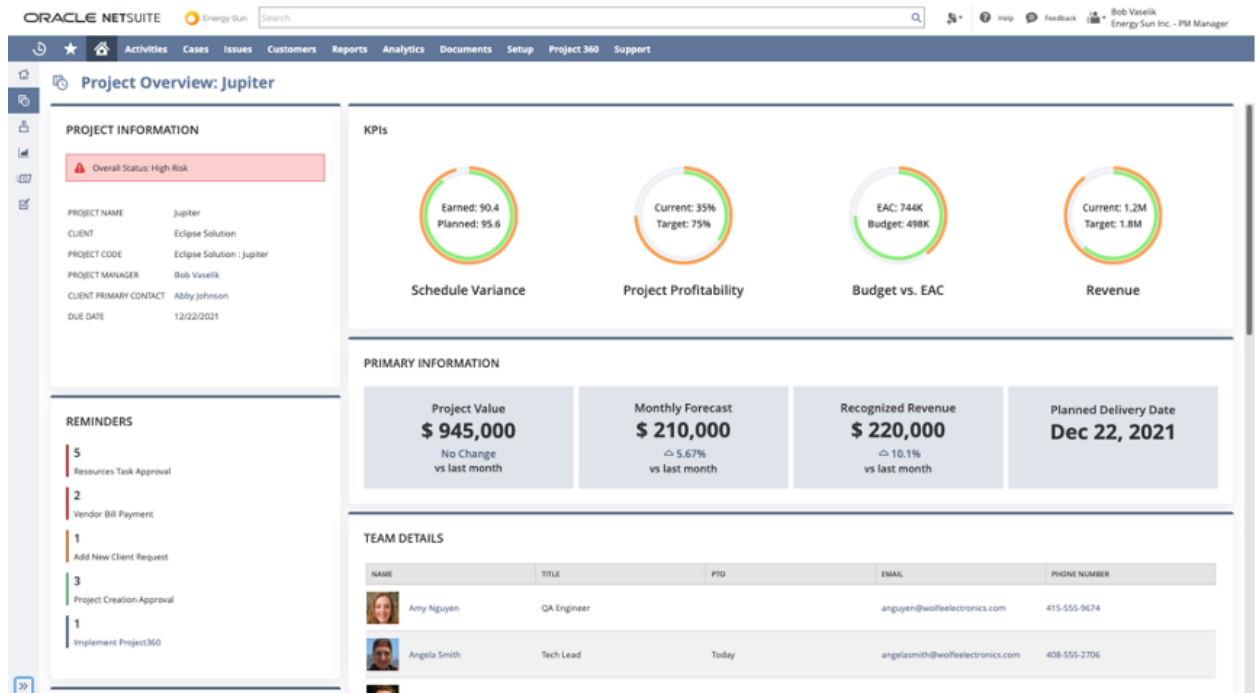
1 箇所でのプロジェクト管理

- NetSuite 2022 リリース 1 のサービス企業向けの中心的機能であるプロジェクト 360 ダッシュボードでは、[SuiteProjects](#) 内に統一的でプロジェクト中心かつ直感的なコントロール・パネルが提供されており、スイート全体からデータを取り込んで、多忙なプロジェクト・マネージャーの必要を満たすようにカスタム調整されたワークスペースに表示します。これによってポートフォリオ内の各プロジェクトの 360 度ビューが得られ、実績と予算の比較、プロジェクトの収益性、請求と収益、プロジェクト・チーム・カレンダー、コンサルタントの稼働状況、スケジュール、クライアントの連絡先の詳細などを確認できます。

プロジェクト・マネージャーは、プロジェクト 360 のフォーカス・ページにドリルダウンしてこれらすべての分野の詳細な KPI を視覚的に深く分析し、ダッシュボードから直に問題を回避するための措置を講じることができます。ジョブの追跡は予算オーバーですか?コストがどこで予想外に高くなっているかを見つけ、計画よりも時間がかかっているチーム・メンバーに連絡するといった是正措置を講じることができます。問題に対処するために必要なツールは少なくても、コミュニケーションはプロジェクト・レコードに記録されます。

また、プロジェクト・マネージャーの仕事は例外管理であるため、NetSuite ではひと目で必要な詳細情報がわかる一連の指標が追加されました。ジョブにおいて予算超過、スケジュール遅延、またはその両方が発生していますか?タイムラインに対するチームの状況を正確に把握するとともに、プロジェクト・レコードから従業員や外部仕入先、受託業者を管理してコラボレーションやリソースの共有、資産の有効活用を促進します。

NetSuite では、古く不完全なデータが格納された手動のスプレッドシートやサードパーティ・ツールの寄せ集めからプロジェクト・マネージャーを解放するとともに、プロジェクト・マネージャーのニーズを徹底的に考慮に入れて設計された、プロジェクトのステータスの統一ビューを提供するシンプルなインタフェースが導入されています。



NetSuite プロジェクト 360 ダッシュボード

より迅速な支払、より優れたキャッシュ・フローおよびインサイト

- NetSuite 2022 リリース 1 の請求書作成機能の向上により、サービス企業は時間を大幅に節約できます。顧客から特殊な請求フォーマットを求められていますか?問題ありません。カスタマイズ可能な新しい請求書表示テンプレートにより、各クライアントの必要に合うようにライン・アイテムのフォーマットを正確に構成できます。各コンサルタントが費やした時間や再委託業者のコストなどについての詳細な付加情報シートを含めてください。

クライアントは請求書の処理に必要なすべての情報を得ることができ、迅速な承認と支払が可能になります。

- 労務費の割当機能を NetSuite のすべての顧客が利用できるようになり、時間を自動的に取得して、実際の給与コスト(給与および福利厚生)を正しいプログラムやプロジェクト、助成金に簡単に割り当てられるようになりました。労務費はサービス企業にとって最も突出した経費となることが多いため、これによってサービス企業はプロジェクトの収益性レポートのために労務費をいっそう正確に把握できます。
- プロジェクト関係会社間クロス請求リクエストでは、子会社間で収益をクロス請求する必要があるサービス企業向けに、関係会社間仕訳入力の作成が自動化されるようになりました。これにより、収益を共有する際に、より効率的かつエラーの少ないプロセスが実現されます。
- NetSuite の新しいキャッシュ 360 ダッシュボードでは、現在の資金ポジションおよび今後 6 か月の予測キャッシュ・ポジションの一元的なビューが提供され、what-if シナリオを実行したり、現在の NetSuite トランザクション・データや予測される回収と支出に基づいて週ごとの資金流入および流出を確認できます。キャッシュ 360 のキャッシュ・フロー予測機能により、サービス企業の会計部門は、投資のカテゴリ(昇給のための給与など)、使用するデータ期間(たとえば月単位)、および希望する増加率(たとえば 3%)を定義できます。その後、マネージャーは昇給を全社員に均等に適用するか、それとも特定の職務に限定するかを指定できます。クリックすると、NetSuite ではキャッシュ・フローがその投資をサポート可能かどうかを予測します。マネージャーは予測をレビューして詳細へとドリルダウンできるため、資金予測プロセスは正確、効率的、かつ包括的なものになります。

予算の柔軟性の向上

- 労務費や原材料価格が変動する中で、サービス企業は顧客に対してプロジェクトの財務状況についてのインサイトを継続的にレポートする必要があります。NetSuite 2022 リリース 1 の新しい完了時総コスト見積(EAC)機能はまさにそれを実現します。EAC によってジョブの最終的なコストを継続的に予測できるた

め、驚くような結果になることはありませんし、予算内に収まるように途中で調整できます。

基準予算を設定し、プロジェクト期間中の予測コストや収益の変動に伴う継続的な変更で EAC 予算を活用します。更新されたレポートと新しいサブタブにより、予算の履歴を確認したり、ベースライン、EAC、実績の 3 者を比較することによってプロジェクト・コストを詳細に分析できます。

詳細な給与データの把握

- NetSuite 2022 リリース 1 での目標管理の機能拡張により、従業員とマネージャーは目標の設定と進捗について簡単にコラボレーションできます。リーダーはすべての目標に対する変更履歴を 1 箇所で確認でき、従業員は承認されていない目標や、本質的でない、または不要な目標を削除できます。また、新しい高度なスケジューリング機能によってマネージャーはより柔軟なレビュー・タイムラインを設定でき、開始日や入社日から一定の期間ごと(30 日、60 日、90 日など)のチェックインを自動的にスケジュールできます。
- SuitePeople の新しいマネージャー・ダイジェストでは、チームの業績、目標の進捗、注意が必要な分野などが、毎月自動的に生成される電子メールによりリーダーに知らされます。個人やチームのパフォーマンス関連のすべての情報を 1 つのダイジェストで見ることができ、パフォーマンスの問題が顧客に影響を及ぼす前にマネージャーが介入できます。

[SuitePeople Payroll](#) を実行している企業は、会計、SuiteProjects、計画および予算編成、SuitePeople HR といった他の NetSuite アプリケーションにおいて詳細な給与データをリアルタイムで利用できるため、さらに時間を節約できます。

データのリンクがいつでも簡単に

- 最後に、SuiteAnalytics Workbooks では、SuiteScript API を使用してコードを記述するかわりに、新しいインターフェースを使用して複数のデータセットを簡単にリンクできるようになりました。これは、カスタム・レコードを含むあらゆるデータに対応しています。また、予算と実績、予測と実績、計画と実績といったアイテムのビジュアライゼーション機能により、いつでも簡単にポジションを分析できます。

NetSuite 2022 リリース 1 の詳細情報

これは NetSuite 2022 リリース 1 の新機能のほんの一部にすぎません。プロフェッショナル・サービス企業がどのように活用できるかの詳細は、[リリース・ノート](#)を参照してください。

また、ハンズオン・アクセスにより新機能がお客様のデータ、ワークフローおよびカスタマイズでどのように役立つか試してみるために、[リリース・プレビュー・テスト・ア](#)

[カウント](#)へのアクセスも忘れずにお申し込みください。

上記の事項は、オラクルの一般的な製品の方向性の概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能を提供することのコミットメント(確約)ではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリース、時期および価格については、オラクルの単独の裁量により変更される可能性があります。